

【果実的野菜】

No.	作物名	散布方法	希釈倍率	散布量	散布時期・回数		備考
1	イチゴ	育苗	300～400倍	3ℓ/㎡	2～3回	適宜使用	
		追肥	300～400倍	200～300ℓ/10a	活着期以降	2週間毎	
					加温開始後	1週間毎	
					1番果終了後	硫マグの1000倍希釈液と混用	
2番果以降	硫マグの1000倍希釈液と混用						
2	スイカ	育苗	200倍	3ℓ/㎡	2～3回	適宜使用	
		追肥	200～300倍	200～300ℓ/10a	1回目	果実がピンポン玉大になった頃	
					2回目	上記1回目から2週間後	
					3回目	収穫1ヶ月前	
4回目	収穫2週間前						

注1) 一回あたりの**原液正味投入量を2kg/10a**にするのが理想的。散布量は作業上困難であれば散布設備に合わせて変更。

注2) 上記は標準施用時期及び量であり、生育によってはこの限りでなく、チッ素肥効への偏りがみられる時には、更に追肥する。

注3) 降雨の続く時にもライフインの施用は軟弱徒長を防ぎ、健全な生育に有効である。

注4) 苦土の要求量が増えるため、りん酸吸収効率の上昇効果を含めて腐植酸苦土肥料の施肥を推奨。

<ご注文・お問い合わせ先>

有限会社サンジェットアイ
 岡山県倉敷市玉島八島1987
 TEL 086-523-5420 FAX 086-523-5450
<http://www.sunjet-eye.co.jp>